

古代エチオピア王国の「ケフェウス王 (ケフェウス座)」の妻「カシオペヤ王妃 (カシオペヤ座)」は、自分の娘「アンドロメダ姫 (アンドロメダ座)」が美人だと自慢し過ぎて、海の神ポセイドンの怒りをかい、罰として娘を生け贄にしなければならなくなりました。海岸の岩にくくられていたアンドロメダ姫に「お化けくじら (くじら座)」が襲いかかろうとしたときに、空を飛べる「天馬ペガサス (ペガサス座)」に乗った「勇者ペルセウス (ペルセウス座)」が、ぐうぜん通りかかり、お化けくじらを倒してアンドロメダ姫を救い出しました！

★散開星団「すばる」若い星の集団 M45 プレアデス星団

日本では「すばる」と呼ばれ、肉眼でも観察できる美しい散開星団です。初冬の東の空～天頂に細かな星が集まった姿が誰にでも分かります。普通の視力で 6～7 個の星が見えますが、小型の双眼鏡で 60～70 個、大口径双眼鏡や低倍率望遠鏡で見れば、約 140 個もの恒星の集まりであることが分かります。

「すばる」は和名で、清少納言が枕草子(平安時代中期に執筆されたと伝わる随筆)の中で「星は昂(すばる)…」と詠んでいることでも有名で、元々は「結ぶ」や「集まる」という意味を持っています。

※プレアデス星団(M45=メシエカタログ番号)は、おうし座の「雄牛の首」のあたりにある散開星団で、地球からの距離は約440光年、この星たちは輝き始めて6千万～1億歳と若い年齢の青白い(高温の)星の集団です。



◆「プレアデス(七人姉妹)」とは…ギリシャ神話においてプレアデスは、ティタン族のアトラスと、海のニュムペであるプレイオネとの間に生まれた「七人姉妹」のこと。

※また日本では、肉眼で6個の星にも見えるところから「六連星」と呼んでいる地方もあり、六つの星が集まっている様子を自動車のエンブレムに採用している「富士重工(現:SUBARU)の自動車ロゴ」といえば、六連星(むつらぼし)マークで有名です！

★2025冬～26年春季までの主な流星群と注目の天文現象

流星群の名前など	きょくだい 極大(予測日時)など	特徴・詳細
ふたご座流星群☆ (三大流星群の一つ)	12月14日 (17時頃極大)	母天体は小惑星ファエトン。一時間あたり50個以上の安定出現!? 速度がやや速く、平均光度2等級、その一割が0等級より明るい!
しぶんぎ座流星群☆ 『一月 りゅう座流星群』	1月4日(日) (午前6時頃に極大)	2026年最初の流星群(三大流星群の一つ)うしかい座・りゅう座の境界付近が放射点で、過去には一時間で約50個もの出現も!?
日本全国で見られる 皆既月食	2026年 3月3日(火)	この皆既月食は19時前から部分食が始まり、20時頃から1時間程度皆既食(赤銅色の月)となり、22時過ぎに部分食が終わる…好条件!

補足: 「活動的小惑星: ファエトンの素顔」2018年7月2日(国立天文台)

地球近傍小惑星の一つ「ファエトン (Phaethon フェートンとも呼ぶ)」は、彗星に似た特異な軌道を持つ直径6kmほどの小惑星で、ふたご座流星群のもととなる塵を供給した天体と推定されており、太陽に近づく時期には少量の物質(ナトリウム蒸気?)を放出していることなどから、ファエトンは彗星に近い性質を持つ「活動的小惑星」として知られている。このような「彗星と小惑星の両方の性質を持つ天体」の表面状態は非常に興味深く謎も多い!